

5/16 市美術館企画展「渋川市 手わざの美と心」
繊細な感性が光る本市ゆかりの作者による作品展

6月1日まで市美術館で「渋川市手わざの美と心」を開催しています。本市に縁のある8人の作品17点と、旧城山荘の屋根を飾っていたシャチホコを展示。作品を生み出す工程など、作品に寄せられた説明表示からも出品者の高い美意識が感じられます。木工や陶芸、ガラス工芸など多彩な作品が一堂に会し、訪れた人は丁寧に細やかな表現に目を奪われていました。



5/18 第21回清流祭り
川魚との触れ合いを全力で楽しむ子どもたち



5月18日に、中郷地区の利根川河川敷で清流祭りが開催されました。これは、子どもたちが魚と触れ合える機会を作り、環境保全の意識を高めるために開催するもので、ヤマメの稚魚放流やペア釣りトーナメント、魚つかみ取りなどを実施。大勢の親子連れでにぎわう中、初めて参加した男の子は、つかみ取りに挑戦し「魚はヌルヌルしていた。捕まえて楽しかった」と話していました。

—〈表紙の紹介〉—

4/20 第24回白井宿八重ざくら祭り
しぶかわ応援大使と満開の花が春を彩る

当日の様子を収めた動画はこちら▶



4月20日に、白井宿通りで八重ざくら祭りが行われました。満開の八重桜の下、110人が歩く武者行列に、しぶかわ応援大使の俳優・渋川清彦さんが本多広孝公に扮して参加。歴史的な町並みを練り歩く姿に、約2万1,000人の来場者が見入っていました。地域の特産品を販売する六斎市や、句会、山車の披露なども催され、にぎやかな春の1日となりました。



4/23 令和7年度第1回渋川まちかどトーク
地域課題とワークライフバランスについて意見交換

4月23日に、小野上公民館で渋川まちかどトークが行われました。これは、市民などで構成する団体と行政とが、設定したテーマに沿って意見交換を行う事業です。令和7年度初の開催となったこの日は、「マンマ・おのがみ」の構成員7人と副市長を含む市の関係者4人が参加。参加者全員が積極的に発言し、今後の施策や事業に生きる大切な意見を交わしました。



5/5 高校生が作った「わたしたちの街カレー」販売
地元の食材を使った本格カレーがSLの乗客に大人気



5月3日から5日まで、JR渋川駅や駅前通りの店舗で、高校生が作ったカレーが販売されました。ユースセンターよはくを利用する高校生が、JR東日本高崎支社などと協力し、地元の農産物をPRする企画としてカレー制作を開始。フードコーディネーターの指導の下、本格的なカレーを完成させ、SLが渋川駅に停車する日に合わせてカレーを販売しました。

5/9 赤城歴史資料館の企画展「渋川市と自然災害」
災害の記憶をたどり後世に伝える

3月26日から6月29日まで、赤城歴史資料館の企画展「渋川市と自然災害」を開催しています。噴火による埋没、地震による地割れや山崩れ、台風による洪水など、古墳時代から現代にわたって地域に影響を与えた出来事の数々を紹介。パネルや写真、遺物の展示を通して、災害の脅威と、現在の市の取り組みを身近に感じることができます。

